

「学ぶ力」	
実態	成果
	<p>◇「先生方は、自分たちが安心して学習に取り組むことができるよう、支援してくれる」の項目において、9割を超える児童が肯定的評価をしていることが、共通指標から明らかになった。安心した学級・学校づくりのための尽力が数値になって表れた。</p> <p>◇「ドリル・ドリルノート」の使用により、どの学年でも漢字や計算の学び方が定着してきた。保護者アンケートの結果でも肯定的な回答の割合が高かった。また学習規律についての肯定的評価もここ数年安定的に高い。</p>
	<p>◇全国学力・学習状況調査の結果から、「書くこと」に関する事項が全国平均を下回っている。</p> <p>◇「家庭学習」について、肯定的な回答の割合が低かった。自らの学習状況を把握し、計画的に学習を進めることが課題である。また、札幌市の共通指標から「1日の時間の使い方を自分で考えて生活している」「自分で計画を立てて勉強している」の項目において、ここ数年、肯定的評価が微減している。自分の生活に見通しを立て、計画的に行動するということが課題である。</p>
<p>「学ぶ力」の基盤〈協働を通して磨く 相互承認の感度〉の現状と課題</p>	
<p>◇札幌市の共通指標の「自分が必要とされていると感じる」等の相互承認に関する項目において、肯定的な回答が増加傾向にある。自分に自信がもてるような場の設定や価値付けの重要性を意識して取り組んでいることが自己肯定感の高まりに寄与していると考えられる。しかしながら、全体的にはまだ自信もてない子も少なくないので、引き続き自己肯定感を高める取組の必要がある。</p>	

### 「学ぶ力」の育成のために着目する資質・能力

## 学び進められる子の育成

取組	課題探究的な学習の推進 に向けて	自治的な活動の充実 に向けて
	<p>◇研究副主題「授業のユニバーサルデザイン化」の実現</p> <p>→意思決定を言語化する学習展開</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・根拠やこだわりをもって決めた自分の考えを言語化する</li> </ul> <p>→自分の意見を磨く交流の仕組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・意思決定を交流することで、自分の決定をブラッシュアップしていく。</li> </ul>	 <p>◇よりよい学級学年にするための学級活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>→学年集会の実施、学年学級の目標・振り返りの交流</li> <li>→係活動の充実による学級風土づくり</li> </ul> <p>◇よりよい学校生活にするための高学年による発信</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>→委員会活動、総合的な学習「お手本プロジェクト」</li> </ul>
<p>「学ぶ力」の育成の一層の充実を図る ICTの活用について</p>		
<p>◇端末を学習用具の一つとして位置づけ、学習規律を徹底して指導することで、日常的な活用を進めている。</p>		

### <本プログラムの実行に向けて>



